

## 海外に住む外国人558人に聞く 「個人旅行解禁後の日本への旅行計画」に関する調査

～約半数が次の旅行先を“日本”に決定したと回答、一方で受入れ体制の新課題も～

日本人と外国人の“両目線”を生かした動画で自治体や企業の外国人へのアプローチを支援する Tokyo Creative 株式会社（所在地：東京都墨田区、代表取締役：中川智博・小野沢隆、<https://www.tokyocreative.jp/ja/>）は、2022年9月15日に発表された『新型コロナウイルス水際対策を大幅緩和し10月を目途に個人旅行客の入国を解禁する方針』を受け、日本以外の国在住かつ日本以外の国籍をもつ外国人558人を対象に「個人旅行解禁後（2022年10月以降）の日本への旅行計画」に関する調査を実施しました。



### ■回答サマリー

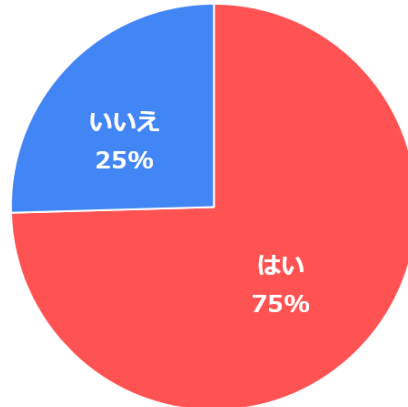
- ・2022年10月を目途に**個人旅行が解禁**になることを知っている外国人は**8割以上**
- ・すでに日本旅行の計画を立てた外国人は**約3割**
- ・約半数が次の旅行先は日本と決めている
- ・**94.1%**の外国人は、発表を受け**日本旅行を検討**している
- ・訪日予定の外国人は、日本は外国人旅行客を“**歓迎ムードかどうか**”が気になっている
- ・引き続き、日本独自の「**マスクルール**」は懸念ポイント

### ■Tokyo Creative とは

地方自治体・DMOの観光戦略をはじめ、動画に紐づく施策を、日本人・外国人の“両目線”で立案・企画・実行しています。企画・監修した**福島市のプロモーション動画**は『クールジャパン動画コンテスト2021』**地方自治体部門の奨励賞を受賞**し、三重県赤目四十八滝の外国人向けプロモーション動画は**30万回再生**を突破するなど、これまで100社を超える地方自治体や企業などのサポートで培ってきたノウハウと、自社で抱えている日本最大級である在日外国人インフルエンサーに紐づく約1,700万人の日本好き外国人コミュニティを活用し、成果につながる支援を可能にしています。

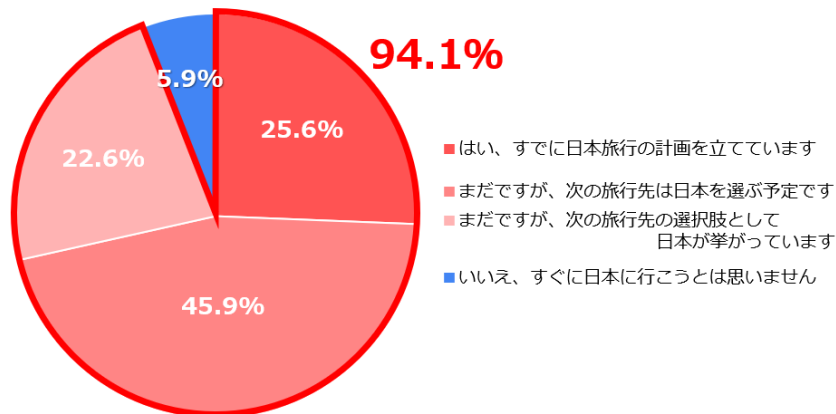
■調査内容

Q1 日本への“個人旅行”が 2022年10月を目途に解禁されることを知っていますか？



N=558 Tokyo Creative 調べ

Q2 個人旅行者の入国解禁に関する情報を踏まえて、日本旅行の計画を立てましたか？



N=558 Tokyo Creative 調べ

<すでに日本旅行の計画を立てた人の声> (一部抜粋)

- ・今年のクリスマスや新年あたりに訪問しようと思っている。(ニュージーランド 女性 25-34 歳)
- ・12月の日本行き航空券を予約しました。(ドイツ人 男性 25-34 歳)
- ・2023年10月に沖縄を訪れる予定です。(アメリカ人 女性 45-54 歳)
- ・2023年1月に開催されるロックコンサートに行く予定です。(オーストラリア人 男性 55-64 歳)

<すぐに日本に行こうとは思わない人の声> (一部抜粋)

- ・コロナにより物価が高騰してしまい、旅行どころではない。(イギリス人 19-24 歳)
- ・日本旅行中にコロナに感染した場合の対応を様子見してから。(ギリシャ人 男性 35-44 歳)
- ・マスク着用ルールがもう少し緩和されるまで。(マレーシア人 男性 25-34 歳)

Q3 日本旅行をする際に気になることはありますか？ (自由記述・一部抜粋)

- ・特定の場所を訪れるための制限があること。私の最後の旅行中(2020年3月)、博物館や観光地が閉鎖されていたことを除き、すべてが普通でした。(オランダ人 男性 25-34 歳)

- ・日本人に怖い、病気を撒き散らす外国人だと思われたくないからです。(スウェーデン人 男性 35-44 歳)
- ・日常生活のマナーとエチケットを心配しています。(オランダ人 男性 25-34 歳)
- ・外国人観光客が来ることを楽しみにしていない人がいるのではないかと。マスク着用ルールの現状を少し心配しています。(アメリカ人 女性 25-34 歳)

## ■結果

「知っている人」が75%と大多数を占め、日本の個人旅行解禁が広く外国人に周知されていることが判りました。「すでに日本旅行の計画を立てた」と回答した人は、全体の約3割もいることが判りました。また「次の旅行先は日本」と回答した人は約半数、「日本を次の旅行先の候補」と回答した人は約2割で、日本旅行に前向きな人は全体の9割超で94.1%と判明しました。

日本への旅行に対して前向きに検討している人が多い一方で、日本旅行の懸念点として「マスク着用に関するルール」や、「観光客の訪問を歓迎してくれるのか?」「日本人の外国人旅行者に対して持っているイメージ」などが気になるといった意見も多数見受けられました。今後、訪日観光客に向けた受け入れ態勢や施策を考えていくには、こういった新しい課題への意識も重要になっていくと感じています。

## ■調査概要

調査テーマ：「個人旅行解禁後の日本への旅行計画」に関する調査

調査対象：日本以外の国在住かつ日本以外の国籍をもつ外国人558人

調査期間：2022年9月16日～9月20日（日本時間）

調査方法：Tokyo Creative コミュニティへのインターネット調査（質問と回答ともに英語使用）

## ■記述統計

性別とその人数：男性(311)、女性(239)、選択なし(8)

年齢とその人数：

18歳以下(7)、19-24歳(67)、25-34歳(296)、35-44歳(140)、45-54歳(26)、55-64歳(17)、65歳以上(5)

国籍とその人数：

アイルランド(7)、アフリカ(3)、アメリカ(162)、アルゼンチン(3)、イギリス(70)、イスラエル(2)、イタリア(8)、インド(3)、インドネシア(3)、エクアドル(1)、オーストラリア(40)、オーストリア(7)、オランダ(16)、カナダ(45)、ギリシャ(5)、コロンビア(1)、サウジアラビア(1)、ジャマイカ(2)、シンガポール(7)、スイス(3)、スウェーデン(9)、スコットランド(3)、スペイン(8)、セルビア(1)、チェコ(3)、チリ(2)、デンマーク(1)、ドイツ(46)、トルコ(3)、ニュージーランド(15)、ノルウェー(3)、ハンガリー(2)、フィリピン(8)、フィンランド(5)、ブラジル(3)、フランス(12)、ブルガリア(2)、ベトナム(1)、ペルー(1)、ベルギー(7)、ポーランド(4)、ポルトガル(9)、マルタ(2)、マレーシア(2)、メキシコ(7)、モルドバ(1)、ルーマニア(3)、ロシア(1)、韓国(1)、中国(3)、南アフリカ(1)

居住国とその人数：

アイルランド(6)、アメリカ(164)、アルゼンチン(2)、イギリス(75)、イスラエル(2)、イタリア(6)、インド(3)、インドネシア(2)、オーストラリア(48)、オーストリア(7)、オランダ(17)、カナダ(47)、ギリシャ(4)、コロンビア(1)、サウジアラビア(1)、ジャマイカ(1)、シンガポール(7)、スイス(2)、スイス(3)、スウェーデン(6)、スウェーデン(4)、スコットランド(4)、スコットランド(9)、スペイン(6)、セルビア(1)、チェコ(2)、チリ(2)、デンマーク(1)、ドイツ(44)、トルコ(3)、ニュージーランド(14)、ノルウェー(3)、ハンガリー(2)、フィリピン(9)、フィンランド(5)、ブラジル(3)、フランス(9)、ブルガリア(1)、ベラルーシ(1)、ペルー(1)、ベルギー(9)、ポーランド(3)、ポルトガル(6)、ポルトガル(2)、マルタ(2)、マレーシア(1)、メキシコ(7)、モルドバ(1)、ルーマニア(3)、韓国(3)、中国(1)

■Tokyo Creative 会社概要

社名 : Tokyo Creative 株式会社  
設立 : 2013 年 8 年  
代表者 : 代表取締役 中川智博・小野沢隆  
所在地 : 東京都墨田区横綱 1-10-5 KOKUGIKA FRONT BUILDING  
レッドホースコーポレーション株式会社内  
資本金 : 9,000 万円  
URL : <https://www.tokyocreative.jp/ja/>  
業務内容 : 訪日インバウンド集客事業、訪日インバウンド関連事業、タレントマネジメント事業  
お問合せ : [info@tokyocreative.jp](mailto:info@tokyocreative.jp)